

「2022年度中国・浙江大学スプリングスクール（オンライン）派遣参加報告書」

京都大学文学部4年 西村陽菜

①学習成果

- ・浙江大学の授業開始前に行われた語学講座では、中国人の女子学生と1対1で練習を行い、友達と雑談するようなカジュアルな雰囲気を実践的な中国語を学ぶことができた。2週間の講座を通じて、その学生と親しくなることができ、中国人の友人ができたことも嬉しかった。
- ・外国語で講義を受けることの大変さを実感した。わからないところが多いだけでなく、その質問の仕方もわからないことがあり、苦労した。私の周りには日本語で講義を受ける中国人の京大の学生が大勢いるので、彼らを改めて尊敬した。
- ・浙江大学の授業を一緒に受けた韓国人やイタリア人の学生から刺激を受けた。私達日本人と違って漢字に関する知識の無い状態で中国語の学習を始めた彼らの勤勉さを感じて、私も今まで以上に努力したいと感じた。
- ・中国語への関心が高まり、中国や台湾のドラマを見ることが趣味になった。
- ・中国語を聞きながらわからない単語を推測して理解するという経験を初めてした。
- ・浙江大学の学生が英語を使いこなしていたので、私も英語をもう少し日頃から勉強せねばならないと感じた。

②プログラムでの経験

教材の内容そのものはある程度理解することができた。日本人が漢字を日常的に使用することや、自分の専門分野である東洋史で漢文を読むのに慣れていたことがプラスにはたらいたのだと思う。ただし、授業が中国語で進行するため、指示が聞き取れないということもしばしばあった。よって、宿題の提出の仕方を間違える等のアクシデントもあったが、会話の中で中国語を覚えるという経験をすることができたのは良かった。

③プログラム内容

中国語レベル4クラスの読解（長文読解とディスコースマーカに関する授業）、作文、口語の授業、浙江大学の学生との交流

④進路への影響について

以前は自分の周りで中国学を学ぶ学生が次々と留学へ行くのを見て漠然と留学をしたいと考えていた。しかし、プログラムを通じて実際の留学をより具体的にイメージして、語学を学ぶこと自体は日本国内でもできるので、日本で勉強する時間を減らしたり留年したりしてまで留学したいとは思わなくなった。一方で、浙江大学の学生の明るい雰囲気はとても良かったので、春休みあるいは夏休みを利用して中国に長期滞在してみたいとは思った。